

児童館 ぐんぐんのひろば



梨の皮むき練習会

南児童館では、9月14日に「梨の皮むき練習会」を行いました。梨の皮むきはじめての子たちなので、包丁の持ち方、皮をむくときの包丁の動かし方など説明をしながら、ひとりひとり練習をしました。



初めは緊張して、包丁を持つ手に力が入り、なかなかうまくむけませんでしたが練習をしていくうちに、だんだんと上手に

むけるようになり、もう一度やりたいと挑戦していた子もいました。そして、自分でむいた梨をおいしそうに食べていました。

手作りクッキング



西児童館では、9月24日に「手作りクッキング」を行い、プリンアラモードを作りました。最初にバナナやキウイ・桃などのフルーツを切って、お皿の上にプリンとフルーツ、生クリームをきれいに飾りました。

初めて包丁を持った子も使い慣れてる子も楽しく作ることができ、みんなでおいしく食べました。

11月の行事予定

○西児童館 ☎(04)2321

・ここまでおいでジャンケン 2日(月)

・ちびっこ広場 6日(金)

・野菜の皮むきに挑戦 12日(木)

・絵本の読み聞かせ 18日(水)

・ちびっこ広場 20日(金)

・手作りクッキング 26日(木)

・大縄跳びで遊ぼう 30日(月)

○南児童館 ☎(04)3456

・ドッジボール大会 2日(月)

・ママといっしょ 5日(木)

・りんごの皮むき練習会 9日(月)

・ママといっしょ 12日(木)

・お父さんといっしょ 14日(土)

母親クラブ主催

・長縄跳び大会 16日(月)

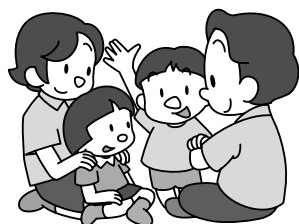
・ママといっしょ 19日(木)

・ママといっしょ 26日(木)

・お父さんといっしょ 28日(土)

母親クラブ主催

・みんなでクッキング 30日(月)



思いやりの心で明るい社会を

監督

五霞中学校
生徒作文

「苦しみを乗り越えたやつだけが逆境に立ち向かうことができる。」

これは、甲子園へと向けて努力し続ける高校の監督の言葉です。なぜ、私がこの言葉を知っているのかというと、あるニュース番組の特集で放送していたからです。

この言葉だけを聞いても感動できるとは言えないと思います。言葉というものは、相手に気持ちを伝えるあたり、ふだん何気なく使っているあいさつだったり、私たちの生活にとけ込んでいると思います。

しかし、この監督の言葉には、もっと深いものがあると思います。私がこの監督の言葉から感じ取ったことは、生徒達への愛情です。

この監督は、部員を1学年に10人までと決めているそうです。その理由は2つあり、1つは「団結」するためです。10人という少ない人数でやることで全体でも30人、団結力が高まります。私は思わず「あゝ」と感心してしまいました。

野球はチームプレーです。みんなが強くて、チームワークがよく

なければ、試合に勝っても楽しくないのではないかなと思います。そして、つらい練習も、仲間がいなくては耐えられないのではないかなと思います。

2つめは、部員たちの将来のためです。高校3年生になる部員のために、大学に頼みに行ったり、相談を引き受けたりするそうです。卒業した後の部員たちの未来を、教師として、人生の先輩として教えてくれるのです。心がとても優しい人だと思います。

野球の監督としては、とても厳しいそうです。たぶん練習もすごいハードなのだと思います。また、自分自身に厳しいそうです。でも、部員が練習に励んでいる時、監督は部室にいます。何をしているのかというと「そうじ」です。監督は、「そうじをしている時間があんなに練習をさせてあげたい。」と言っています。私は驚きました。なぜかという、そこまで監督がやらなくても…という考えをもっていたからです。私は、自分が使った場所は自分でそうじする。そう教わってきました。

この監督に教わった部員たちは、甲子園の試合で最悪の事態になってもそれに立ち向かう力を持っていると思います。そして、これからも逆境に勝てる選手を育ててほしいです。

(抜粋)